

巻頭言

令和5年 年頭所感

経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課
課長 渡邊佳奈子



令和5年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

印刷産業の皆様におかれましては、平素より弊省の政策にご協力を賜りありがとうございます。

今、世界は時代の転換点を迎えています。気候変動、コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵略という3つの危機に加え、特に日本においては、地域にも大きな影響を与える少子高齢化・人口減少という課題への同時対応が求められています。

こうした局面を乗り越え、強靱で柔軟な経済を構築するため、まず、今年の臨時国会で成立した補正予算を速やかに執行し、物価・エネルギー価格高騰への対応、グリーン・トランスフォーメーションの推進、省エネ支援などに取り組んでまいります。

厳しい経済状況が続く中で、印刷産業の持続可能な発展には、印刷の枠を超える新たな価値創出が非常に重要となっております。長年培われ蓄積された印刷技術と、新たなサービスを組み合わせ、感動と夢を与える新しい産業へと進化いただくことに期待をしております。

経済産業省としても、新分野展開、業態転換、事業・業種転換などの思い切った事業再構築に対する支援や、デジタル化などの生産性を向上させる前向きな設備投資への支援をもって応援させていただきます。

また、中小企業の取引適正化を図るため、サプライチェーン全体の共存共栄を目指す「パートナーシップ構築宣言」の推進や、価格交渉促進月間の結果を踏まえた下請振興法に基づく親事業者への指導・助言を実施しております。印刷業界におかれましては、昨年3月に「取引適正化」と「付加価値向上」に向けた自主行動計画を策定いただきました。今年度経済産業省は印刷業界の皆様とともに、下請ガイドライン改訂案及び印刷産業における取引改善等に向けた方策を検討しており、引き続き強く連携して取り組んでまいりたいと考えております。

印刷産業は商業印刷や出版印刷を始め、身の回りのありとあらゆるものに関わっており、地域の顧客のニーズや実情に合わせて創意工夫を重ねて、様々な事業展開をされております。この印刷業界の皆様が事業領域の拡大や新しい技術の開発へ挑戦し、発展されていくことは、日本経済の底上げにつながるものと思っております。

今年は、十干十二支の「癸卯^{みずのと}」であり、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。日本が挑戦し変革していく姿を国内外に発信できるよう、新しい一歩を踏み出しましょう。我々経済産業省も、皆様の後押しができるよう、職務に邁進してまいります。

最後になりましたが、皆様のご多幸と事業のますますの御発展を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

GP JAPAN

全グラ情報



CONTENTS

巻頭言 令和5年 年頭所感 1

経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長 渡邊佳奈子

年頭所感

(一社)日本印刷産業連合会 会長 北島義斉	4
全国グラビア協同組合連合会 会長、関東グラビア協同組合 理事長 田口 薫 ..	5
北海道グラビア印刷協同組合 理事長 若狭博徳	6
埼玉県グラビア協同組合 理事長 佐伯鋼兵	7
関東プラスチック印刷協同組合 理事長 石井 純	8
東海グラビア印刷協同組合 理事長 杉山真一郎	9
北陸グラビア協同組合 理事長 賀谷真尚	10
関西グラビア協同組合 理事長 竹下晋司	11
九州グラビア協同組合 理事長 母里圭太郎	12
全国グラビア製版工業会連合会 会長 高村敏夫	13

全グラコーナー 14

全国グラビア協同組合連合会 定例理事会報告

GP 表示を増やして存在価値を高める

組合員・単組の近況

関グラ協組 定例理事会報告 16

軟包装のキャッチコピー、決定までには今少し時間が

関西グラビア協同組合 18

令和4年度年末情報交換会を開催

今月の
表紙



2022年11月28日、IGAS 最終日に
全グラ展示ブースを訪れ、当日の担当
者の皆さんを撮影

WE LOVE GRAVURE

- JFPI** 20
「じゃぱにうむ2023」、2月17日にリアル開催&ライブ配信
北四国グラビア印刷が事例を発表
- グラビア印刷作業(7-2-2)に係る審査基準変更のお知らせ** ... 21
- Data Watch** 2022年9月データ 26
紙・板紙/不織布/粘着テープ・シート類/プラスチックフィルム・シート/インキ/
ポリプロピレンフィルム/印刷加工機械/印刷機械輸出入/アルミ箔/ポリオレフィンフィルム
- 紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷** 2022年10月データ 32
- 労働者が安全に働くために職場における新たな化学物質規制が導入されます** ... 36
- GP 工場認定制度無料説明会のご案内** 41
- 業務改善助成金(通常コース)のご案内** 42

Information

日本包装学会、2月21日に第87回シンポジウム「循環型社会の実現に向けてー包装技術の現状と最新情報ー」開催 ... 17

GPJAPAN は全国グラビア協同組合連合会が発
行する機関誌です。年間購読料は送料込みで
15,000円+税です。

購読および広告出稿を希望される方は、
全国グラビア協同組合連合会
e-mail: zenkoku-grv@utopia.ocn.ne.jp
http://www.gcj.or.jp/
までご連絡下さい。

本文ページの紙は、無塩素漂白パルプから作られ
たものを使用しています。

発行：2023年1月10日
発行人：田口 薫 (全国グラビア協同組合連合会会長)
発行所：全国グラビア協同組合連合会
〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9
あさひ墨田ビル
TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814
編集スタッフ：袖山高明 (全国グラビア協同組合連合会専務理事)
村田英雄 (全国グラビア協同組合連合会顧問)
渡邊富美子、酒井由香 (同事務局)
編集協力：(株)加工技術研究会
印刷：(株)遊文舎

© 全国グラビア協同組合連合会2023

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPAN の無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、
禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

2023年

年頭所感



(一社) 日本印刷産業連合会
会長

北島 義斉

感動と夢を与える新しい産業へ

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、日本印刷産業連合会（日印産連）の運営に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の日本経済は、新型コロナウイルスの感染防止対策と経済活動の両立が進み、行動制限が緩和されるなど、持ち直しの動きが見られました。一方で、地政学リスクによるサプライチェーンの混乱や原材料コストの高騰、円安の進行に加え、中国等をめぐる貿易摩擦、米欧を中心とした物価高や利上げなどにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

印刷業界においても、用紙をはじめとした原材料価格やエネルギー費の高騰など、厳しい経営環境が続くなか、政府が掲げる成長と分配の好循環による「新しい資本主義」の実現に向けて、重点分野でもある「グリーントランスフォーメーション（GX）」や「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を推進し、新たなビジネスチャンスの拡大につなげる動きも見られました。

こうしたなかで日印産連は、「Change Together 感動と夢を与える新しい産業へ」をスローガンに掲げ、SDGsのゴール達成に向けた活動を積極的に展開しています。

私たちは、地球環境の課題解決に対する人々の関心の高まりを受けて、昨年「印刷産業の2050年カーボンニュートラル宣言」を発信いたしました。従来からの省エネ施策のさらなる促進や、再生可能エネルギーの導入促進などを通じて、印刷

業界全体の生産性向上、エネルギー使用量の極小化に努めてまいります。また、SDGsのゴールとも連動して、環境配慮された工場を認定する「グリーンプリンティング（GP）」の事業拡大にも、さらに注力していきます。

また、あらゆる産業を顧客とする印刷産業は、多くの取引先との関係を有しており、経済産業省の指導の下、サプライチェーン全体の取引条件を改善していくことを目的として、「下請適正取引の推進に向けた自主行動計画」を2022年に策定しました。今後も本計画を会員企業に徹底するとともに、定期的なフォローアップによって確実に実行していきます。

長らくコロナ禍をきっかけのひとつとして、私たちの働き方や生活様式、そして市場環境も大きく変化してきました。そこで日印産連は、長期的な視点に立って未来を見据え、「持続可能な環境・社会・経済」を実現していくため、会員10団体とともに、2030年の印刷産業のあるべき姿を描く新たな「グランドデザイン」の策定に着手しています。

今年の「9月 印刷の月」は、4年に一度の「印刷文化典」です。多くのご来賓や会員企業の皆様が一堂に会し、盛大に開催できることを願っています。

日印産連はこれからも、会員10団体の皆様との連携を一層深めて、業界の持続的発展に努めてまいります。皆様には、これまで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ご繁栄とご健勝を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

2023年

年頭所感

全国グラビア協同組合連合会 会長
関東グラビア協同組合 理事長

田口 薫



皆様、あけましておめでとうございます。日頃は全国グラビア協同組合連合会の活動にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの脅威に加え、昨年2月にロシアがウクライナに侵攻し、原料やエネルギー価格の高騰を招きました。加えて、円安によって日本が輸入するあらゆるものが値上がりし、私達は今や値上げ地獄の中に苦しんでいます。大手スーパーは価格凍結を宣言し、私達の価格転嫁活動にストップをかけています。現代は弱者にしわ寄せで帳尻合わせている世の中ではないかと私は考えます。またぞろ型破りの所感ですが、業界の正常化に資す為には繰り返し窮状を訴えるしか方法がありません。

全グラでは3年間、軟包装が世の中に認知されるにはどうしたら良いか、「空気と水とパッケージ」といわれ、無くなって初めて大切さがわかる、ではいけない、安永副理事長の熱意で議論を深め、軟包装のアピール周知活動に取り組んでおります。軟包装はただ包むだけではありません。品質を保ち、食品を口にする消費者に安全で便利・カラフルで思わず買いたい・食べたいという心をかき立てる役割を、世間に知っていただきたいとキャッチコピーを考えてきました。皆さんにも大いに参加していただきたいと思います。

「価格さえ受ければ」の世の中には将来、大きなリスクが含まれています。品質や内容より、値段が優先すれば、「安物買いの銭失い」という言い伝えの通りになります。安売りの顧客の言いなりになって将来を犠牲すればどうなるかは過去に失敗例があり、枚挙にいとまがありません。今我々の業界に大きな倒産がないのは、設備投資を控えているからです。業界500社でグラビア機の新設更新は年15~20台です。社員の平均年齢も上がっています。安く売る業者は人件費をカットして、

コストを抑えています。そんな事をしても人が辞めると思われますが、そうでもありません。我慢強く、また変化を嫌う今の日本では、社員の犠牲の上に成り立つ企業も多いと思います。待遇の悪さに会社を飛び出す方もありましようが、我慢してしまう方が多いようです。それに甘えてしまうと企業は続けられず、廃業するしかありません。衰退しても社員にしわ寄せして生きながらえている企業をゾンビ企業と名付け、日本の中小企業の11%にも上ると帝国データバンクが発表しましたが、これは業界全体にも悪影響を与えると共に日本全体の経済活動にも影を落としてはいませんか？

健全な経済活動とは、自然の山のように老木が倒れ、若木が芽を出し、繁茂していく事です。倒れた老木は菌によって分解され土に還ります。企業も倒産廃業の際に人材が外部に流出し、健康な企業でリスクリングによって技術ノウハウを磨き、また良い仕事をして自然の野山のように良いサイクルで業界が発展していくのではないのでしょうか。日本では企業も社員も変化を好まず、劣悪な労働条件でも我慢してしまう傾向があり、それも日本の国力の低下の原因のようです。円安は日本人の活力、能力を表しているという説がありますが、もっともだと思います。昔から「天の時、地の利、人の和」、天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かずという言葉があります。ウクライナ・コロナ・円安で天の時も地の利も最悪ですが、せめて人の和で今年を乗り切って本来の軟包装グラビアのパーパス（使命）を見直して、大切なもの、安全、品質、コンプライアンスをしっかり守れる企業にすれば将来も自ら開けてくると思います。今年1年、諸課題に立ち向かって参りたいと存じます。

皆様のご鞭撻をお願いする次第でございます。

2023年

年頭所感



北海道グラビア印刷協同組合
理事長

若狭 博徳

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。

令和5年、今年の干支は癸卯にあたります。これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し、飛躍する年と考えられています。これまで数年間の厳しい状況から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年となることを祈るばかりです。

今年も、私たちを取り巻く経済環境は厳しいことが予想されます。

ロシアによるウクライナ侵攻の終息はいまだ見えず、引き続き、燃料供給不安から電力料は更なる値上げが予想されており、原材料・副資材価格も同じく高値のまま推移しております。原材料等の価格高騰下において、日本政府は3%の値上げを要求しております。

製造業における中小零細企業は…、特に北海道企業は其の条件をのめるのでしょうか？

北海道はニセコや富良野、札幌の再開発が始まっており、外資の参入による影響が地元求人や処遇に表れてきています。人口に占める高齢者比率が高い地方としては、少ない若い労働者を雇う事も困難ですが、その賃金レートの上昇が予想される今(私が聞き及んだ時給で¥2000/h!!)、如何にあらねばならないかが問われる事になると思います。

根本は所得水準の地方格差が広がっている事に由来しています。

簡単な問題ではありませんが、札幌を中心とする近郊都市においても労働対価が大凡関東圏の半分という現実があり、もうこちら辺が下限の限界かなと思います。

どの様に是正していくのか、若しくはその差が広がるのか？ 簡単な事ではありませんが、北海道の我々業界各社はこの点にも注視しながら、難しい舵取りを余儀なくされる事に備えなくてはならないと、コロナウイルスに罹患し自宅療養しながら考えておりました。

新型コロナウイルスに対する世界の対応は、昨年末に開催されたサッカーワールドカップの観戦者を見てもコロナ禍前に戻っておりますが、日本では、その対応は幾分緩やかになったとはいえ感染者数は減少せず、マスク生活はまだ続くようです。

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの日常生活に対する意識や価値観、行動様式を大きく変えました。同時に健康、経済、教育、働き方、環

境などのあらゆる側面の課題を浮き彫りにし、今までの常識や習慣に対する見直しを問われています。こうした変化は当然パッケージの在り方にも影響を及ぼしています。素材の選定やデザインなど、製造プロセスでの取り組みはもちろん、廃棄後のリサイクルまで全体を俯瞰した総合的な判断が求められます。SDGsやカーボンニュートラルの実現といった世界共通の社会課題の解決に向けて、全国グラビア協同組合連合会はもちろんのこと、メーカーやサプライヤーと一緒に考え、取り組んでいく事が求められている年ではないかと感じております。

北海道における昨年の経済環境を見てみますと、農産関係は比較的天候に恵まれ大きな災害も無く、お米は作況指数106の豊作となりました。ジャガイモ・玉葱・人参など一昨年は雨量が少なく型が小ぶりで不作となりましたが、昨年は帯広地区のビート、釧路地区の大根が不作となりました。今年も好天と無災害で豊作を期待しますが、肥料価格の高騰と就農者の高齢化により、作付け量自体が減少すると考えられています。

水産関係では、鮭が大量の収穫となり漁獲額は過去最高となるものの、サンマは昨年より水揚げ量は微増していますが型が小さく、イカもここ数年来の不漁が続いております。

観光関連では、新型コロナウイルスに対する対応が昨年、一昨年から比べ緩和されて国内旅行が順調に回復しているため、観光関係の包装資材は増加しています。もはやコロナ禍ではなく、コロナ以外の環境変化への対応が急務となっており、各社経営が疲弊したところに、円安や物価高、人手不足などを要因に苦戦する企業も顕著化しており、コロナ禍の出口に立ち塞がるように様々なリスクが発生している状況ですので、正しい情報をいち早く正確に捉え、先行きを予測し判断していかなければならない年となりそうです。

昨年も全国グラビア協同組合連合会の皆様には数々のご協力とご理解を賜り、誠にありがとうございました。本年も厳しく変化の激しい年になるうかと思いますが、何卒よろしく願い申し上げます。

会員各社皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。

2023年

年頭所感

埼玉県グラビア協同組合
理事長

佐伯 鋼兵



新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。
新型コロナウイルス発生から3年を迎えること
になります。顧みますと、過去2年の年頭所
感は、ほとんどの記事が新型コロナウイルスに関
する内容でした。いったい何時になったら終息す
るのでしょうか。

そして、昨年2月に勃発したロシアによるウ
クライナ侵攻は、間もなく一年になるとしてい
ます。犠牲者数と被害金額は膨大なもので、その
損失たるや計り知れません。ウイルスの発生終息
には人間は時に無力ですが、侵攻、侵略、戦争は
人類によって終息させることは可能なはずで
す。もはや戦争といえるこの戦いをどうして終わら
せることができないのでしょうか。

これによって、エネルギー不足、物価高騰等、
世界経済に大きな影響を及ぼしています。

米国の物価高による金利引き上げ（4%）に
よる、ドル高、円安、日本の株下落等、経済界で
は、これを三重苦と表現しています。

日本国内の問題に目を向けると、昨年末の国会
では終始、旧統一教会についてでした。もちろん
これはとても重大で、すぐに解決しなければなら
ない問題でしたが、その他にも重要な経済対策、
子育て、福祉等の法案は全く議論されず、国民無
視、国民不在の国会であったと言わざるをえませ
ん。

先の見えない年明けであります。一体この国の
経済、将来はどうなるのでしょうか。

我が業界も、エネルギー不足、資機材値上げ、
品不足と大きな影響を受けています。それに加え
て製造業では、人手・人材不足、設備老朽化等を
抱えている企業も数多くあると思います。これら
の問題解決には、業界の体質改善は急務であると
考えます。商品に対する付加価値には、工賃が十
分に反映されていません。この業界も賃金の見直
し、作業環境・地球温暖化影響への改善を早急に
考えて行動しないと、我々の三重苦は解決しな
いでしょう。

皆さんも御承知の通り、第1次産業は、農業・
林業・水産業、第2次産業は、鉱工業・製造業・
建設業・電気ガス業、第3次産業は、サービス・
通信・小売・金融・保険等、1次・2次産業に
含まれないもので、目に見えないサービスを提供
する無形財の産業です。

そして今や第4次産業といわれる分類も発生
しています。第4次産業とは、第1次～第3次
産業の定義に入らない新しいタイプのもので、情
報通信・医療・教育サービス等の知識集約的産業
等があります。特徴としては、主に技術開発を中
心とした産業であるため、物質やエネルギーの大
量消費は伴わないことです。

これらの産業分類と呼応しているかのように、
産業革命も第1次産業革命から第4次産業革命
が起っています。第1次産業革命は手作業から
機械化へ、第2次産業革命は電力の導入による
大量生産の仕組み、第3次産業革命はコンピ
ューター導入による自動化、そして次なる第4
次産業革命とは何か…一般的にはIoTやAI（人工
知能）を用いることで起こる製造業の革新と言わ
れています。

我々の業界は、当然のことながら第2次産業
です。つまり、この業界にもIoTやAIの波はす
ぐそこまで来ているということです。

しかし、大手企業のように潤沢な資金があるなら
ともかく、私達中小零細企業には、思うような
投資ができないのが実態ではないでしょうか。こ
れは今後、全ての製造業の課題だと思えます。

私達は、全国グラビア協同組合連合会に所属し
ています。せっかくこのような組織の一員なので
皆で知恵を出し合い、協力できることは協力して、
この新しい波に乗って、日本の製造業を盛り立て
てまいりましょう。

今年卯年です。兎のように跳ね上がることを
期待してやみません。

最後に、皆様の企業のご発展と会員諸兄のご健
康を祈念いたしまして、卯年の年頭所感といたし
ます。

2023年

年頭所感



関東プラスチック印刷協同組合
理事長

石井 純

皆様、新年あけましておめでとうございます。
常日頃組合活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。
ございます。

皆様に於かれましては、期待に満ち溢れ新年をお迎えしたことを心よりお喜び申し上げます。

2022年は世界経済体制にとって波乱の年となりました。

日本を含む世界の行動制限の緩和や入港制限の撤廃など、新型コロナウイルスの影響終息に向けた動きも見えだしました。一方ではウクライナ情勢を一因とする物価の高騰や、年初の1ドル=110円台から9月以降には1ドル=140円台となり、急速な円安の進行などマクロ環境的なリスクが急激に高まった年でありました。

中小企業の景気実感についてはどうであったろうか？

内閣府が公表する国民経済計算（GDP統計）によると、2022年第2四半期の名目GDPは547兆円であり、前年同期の542兆円からは回復傾向にあるものの、コロナ前の2020年第1四半期の553兆円の水準にはまだ到達していないようです。

この様な状況下で我々の業界はどのような状況だったのでしょうか？

2020年、2021年と比較すると、体感的ではございますが、2022年は稼働が急激に増え業界内

でも「忙しい！」との声を久しぶりに耳にすることが出来ました。

さて、2023年は私達にとって、どの様な1年になるのでしょうか？

いまだ留まりを見せない原材料やエネルギー価格の高騰、円安による為替の影響、人材の不足など、数えきれない問題を抱えたまま2023年はスタートしました。この様な時代ですが、組合活動を通じ、パッケージの責任、パッケージの役割、パッケージの持続可能な重要性を、広く世にアナウンスしていきたいと思う所存でございます。

本年の干支は癸卯^{みづのと}でございます。「癸」は、雨や霧など静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しています。次の新たな生命が成長し始めている状態を意味します。「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があります。また、高く跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するには縁起が良く、希望に満ち溢れ、景気回復好転する良い年になると言われています。

2023年は「癸」+「卯」の組み合わせから、当業界もこれまでの努力が実を結び、勢い良く成長し、飛躍する様な年になることを心より祈念いたします。

最後になりましたが、皆様方のご繁栄とご多幸と新型コロナ感染終息を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

2023年

年頭所感

東海グラビア印刷協同組合
理事長

杉山 真一郎



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年はスポーツイベントとして、北京にて冬季オリンピックが2月に行われ、11月にカタールにてワールドカップが開催されました。冬季オリンピックでは羽生さんの引退、平野歩夢さんが金メダルを獲得、高木美帆さんがメダル4個獲得、カーリング女子が銀メダルを獲得など、冬季オリンピック最多の18個のメダルを獲得しました。ワールドカップではドイツ、スペインを予選で撃破し、ベスト8には届きませんでした。予選を突破し、深夜にもかかわらず国民は熱い声援をおくれました。MLBにおいては、大谷さんがペブルース以来、100年ぶりの二桁勝利、二桁本塁打という偉業を達成しました。東京オリンピックでも過去最多のメダル数を獲得しており、日本のアスリートレベルの向上、体格の向上、世界での活躍を感じます。

スポーツ界においてはそういった年でしたが、我々の業界は一昨年の10月に起きた酢酸エチルの供給不安あたりから納期の混乱が生じはじめ、原紙の供給不安が重なり、結局昨年一年間ずっと納期については落ち着かなかった一年だったと思います。

冒頭、冬季オリンピックについて述べましたが、ロシアがウクライナをオリンピック期間中の2月に侵攻しました。民間人が犠牲になる映像を見る度に言葉を失いますし、国連の存在意義、国際社会の無力さを感じました。そして戦争は今でも続いています。

そして、あらためて気づかされたのは日本には資源がないということです。

昨年春に経験のないアップ幅でフィルムの値上げが行われました。お客様にご理解をいただく行動を実施しましたが、すべてを転嫁することは出来ません。資材とともに動力費が大幅にアップしました。それ以外にも運賃、副資材、人件費すべてが上昇し、経営に大きな影響を与えております。利益減少分を昔なら「量」でカバーしようとしたのですが、今は人手不足や働き方改革により「量」でカバーするのが厳しい時代です。

組合では「適正価格」について訴え続けておりますが、その大切さを感じております。

「人手不足」については正直今後改善の見込み

があるのか非常に不安です。組合のおかげでグラビア印刷業が外国人実習生の業種に認定されましたが、彼らは期間が終了すれば帰ってしまいます。技術の伝承ができません。

我々が作っている食品パッケージは、10年後も20年後も皆様から必要とされるアイテムだと思っています。

よって、製造における技術革新にも期待しますが、必要なアイテムである以上、需要と供給との間でなんらかの折り合いをつけるのだらうとは思いますが、その時が来るまでじっと待つのか、それとも積極的に対応するのか我々に問われるのではと思います。

プラスチックに関して、今は何が環境に良いのか模索中な状態です。今後議論を経て、方向性が出てくるでしょう。

私はプラスチックが人々の暮らしを豊かにしてきたことに貢献したと思っていますし、今後も重要な素材であると考えています。しかし、日本には資源がないことを踏まえると、「省プラ」そして「リサイクル」という考えはもっと優先されても良いと思います。

当社としてはそういったことを意識した設計、提案をしていきたいと思っています。

さて、今年については世界的な景気減速が言われています。

物価の高騰はナフサばかりではなく、食品にも及んでおり、春にかけて多くの食品の値上げが実施されるでしょう。値上げが実施されれば、今まで以上に売れるということはありません。売上のには厳しい一年になるのではと私も予想します。注文の減少が理由で納期混乱が解消するということは好ましくはありませんが、落ち着いてきた時だからこそ出来ることもあると思います。

組合の皆様の協力なしに、ここから先の苦難は乗り越えることは出来ません。

当社としては会社の繁栄が社員の幸せと一致する経営を意識し、少し未来を考えながら対応していきたいと思っています。

本年も一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたしますとともに、会員皆様方のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

2023年

年頭所感



北陸グラビア協同組合
理事長

賀谷 真尚

常態と新常态

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスが我国に上陸して4年目に成ろうとしています。今も第8波に入っており、本年もどの様に変化してゆくのか気になる所です。この3年間のパンデミックでは、グローバル化された世界経済に対し、生産、サプライチェーンの面で大きな影響を与え、今もなお続いています。

当業界も酢酸エチルから始まり、今は肝心の原紙の供給不足に陥っており、お客様に大変迷惑をかけている最中で、当然のごとく価格も大幅に上がり、納品にも3~4カ月近くかかるモノもありました。とても商売をやっている状態とは思えません。

これは常態では無い訳で、早く元のサイクルに戻すべきと考えます。2019年以前の経済状況を常態と言う人がいますが、私の戦後からの経験では朝鮮戦争、ニクソンショック、第1次、第2次オイルショック、リーマンショック等々と、ショックと云われる異常経済があり、今回はコロナショックとロシア、ウクライナ戦争で、それらの原因は疫病、戦争、政治的政策、経済的施策と様々です。これ等の異常経済に対し、それぞれの国々は回復の遅い早いがありますが、何とか克服して現在に繋がって来ている訳で、近年の世界経済の問題は余りにもグローバル化している事で、どこかの国に何かあると直ぐ世界中に伝播し、また、思いもよらぬところに影響を及ぼす事になってしまうのでしょうか。

我々の業界にとって、そもそも何故こんな事に

なっているのか、日本の場合は資源が少なく、特に根幹である燃料を大方輸入している事、生産も加工も外国に委ねている(特に中国へのウエイトが大きい)事がかなりの影響が在ると思っています。

本来、自給自足が望ましいがそうはならない、そんな構図を作っているのは国策もあるが、大手のメーカー、大手企業の影響力が非常に大きく、そこには自社優先のその時々戦略、先を見据えた損得勘定があったのでしょうか。

他の業界でも頭脳流出、供給難の問題に反省を含め、生産および加工の国内回帰の様子が見られます。我々の業界も平時の需給バランスはそれほど悪くないと思っていますが、最近の原紙メーカーは設備投資には積極的ではなく、どこかのメーカーで事故が起きたりすると、直ぐに供給停滞してきました。近年、出し過ぎたフィルムの種類もここにきて廃版、廃止するメーカーも見受けられます。一旦上市されたフィルムの種類は代替品や改良品を出すのなら良いが、継続供給してゆくの責任ではないかと思っています。それだけ原紙メーカーは儲からないのかもしれませんが、供給の責任は果たして欲しいと思います。それが業界の常態だと思いますし、此の先の我々の業界の安定を支える要件だと思います。アフターコロナの新常态が議論されていますが、メーカーは儲からない業種向けの生産を抑えたり、供給停滞が業界の新常态にならないよう願っています。

毎日、毎年何かが起こります。今年はあまり大きな変化がなく安定、安寧の年になることを祈ります。

2023年

年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、当組合に対し多大なるご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年は新型コロナの規制緩和が進んだこともあり2月・8月・12月には大きな感染拡大時期がありました。皆さまの会社やご家族、大切な周りの方々で罹患された方がいらっしゃいましたらお見舞い申し上げます。

さて、2022年の国内の輸入物価指数は毎月前年比40%、企業物価指数は毎月前年比9%を超え続けた指標が示すとおり、私たちの業界はこの物価高&原油高騰&円安などの影響を受け続けた一年でした。さらにフィルムや溶剤などの資材の調達難、それに人手不足も加わり経営環境は一層困難を極めました。この環境のもとでも受注量が増大したのは、当業界が国民の日常生活に密接につながっており、これはライフラインやフードサプライチェーンの一翼を担っているという存在意義、社会への高い貢献度が示された年でもありました。災害や異常気象時に起こるモノ不足の時だけでなく、コロナ禍や経済の混乱時においてもそれが実証されました。しかしながら、軟包装という言葉の認知度は非常に低く、いまだにビニールの袋と言った方が伝わりやすい現実があります。本年度は私たちが担っている役割や、社会的認知度の向上に、業界が一丸となって取り組む年になる意義のある一年にしたいと思っています。

関西グラビア協同組合は、昭和36年（1961）にグラビア印刷を生業としている近畿地域の同業者をもって構成するコンバーターとプリンターの

関西グラビア協同組合
理事長

竹下 晋司



2つの工業会を母体とし、昭和45年（1970）に「大阪グラビア」と「関西プラスチック印刷」の協同組合をそれぞれ設立。さらに平成4年（1992）、運営機能・業務を効率化するために合併し、現組合名に名称変更しました。昨今の厳しい社会状況、経営環境においても組合員相互の親睦を深めた上で相互扶助の精神を大切にし、軟包装業界の地位向上、さらに組合員や賛助会員企業の発展に寄与する活動を続けてまいりました。

53年目を迎える当組合の輝かしい歴史に恥じない様、本年も設立時の精神を大切にして活動を続けてまいりますので、皆さまからのより一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。

ここで昨年8月24日に日本経済に大きく貢献し、惜しまれつつお亡くなりになった故稲盛和夫氏が2012年10月の講演でお話された内容をご紹介します。タイトルは「混迷の時代に克つリーダーシップ」、当時は2011年の東日本大震災の翌年であり、また稲盛氏が日本航空の再上場をはたした直後というタイミングでした。

実際日本は、他国と比べて平和で安定した豊かな社会を持ち、多くの企業には高度な技術も十分な資金もあります。また、企業経営において最も重要な優秀で勤勉な質の高い人材も揃っています。日本の企業の置かれた環境は決して悪いことばかりではなく、他国と比べても恵まれている点が数多くあります。企業経営者は極端な悲観論に陥ることなく、日本の優れた面にもっと目を向け、もっと自信をもっていいのではないのでしょうか。

明るい未来を信じ、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



2023年

年頭所感

新年、明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。

2022年11月に世界人口は80億人に達しました。国連によると、公衆衛生が改善され、平均余命が伸びたことによる成果だそうです（コロナ禍にも関わらず？ コロナ禍だからこそ？）。人口増加に伴い、貧困やエネルギー資源、環境に関連する問題は複雑化していきます。人口増加と持続可能な開発目標（SDGs）の関係は一筋縄ではいかないようです。

国内では2023年に就業者の平均年齢が46歳に達し、日本経済の生産性がピークを迎えるという統計データがあります。労働力の確保とともに労働生産性を高める努力がますます必要となります。継続的な改善を行い、適正な品質基準のもとにロスを削減する取組とともに、正規非正規・年齢・国籍・性別を問わず幅広い人材へ適切な教育の機会を与えなければならない、と大きなことを言っていました。弊社を振り返るとOJTに始まりOJTに終わる昭和以来の伝承方法です。

組合の方々の努力で厚労省の認可を得た外国人技能実習評価試験、このような試験を自社でやってみたらどうなるだろうか、ふと思ってしまいました。実技試験の内容には、各社各様の作業手順

九州グラビア協同組合
理事長

母里 圭太郎



から抽出したエッセンスが垣間見えます。ネットで拾い集めた知識とは違う、現場の作業から掘り上げた知識・Know-Howを手順化して、次世代につなぐことができるような現場教育を考えていきたいと思いました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響による企業の活動や人々の行動の制限が徐々に緩和され経済の回復に光明が見えてくる一方、原材料価格の変動や不安定な資材調達の動きに翻弄されながら、安定供給に苦心する1年でした。また、原材料価格高騰と価格転嫁の時間差が、損益面に影響を及ぼしました。これから、ウイズコロナ or アフターコロナを見据えて、落ち込んだ需要の回復に対応し、また、新たな需要を伸ばしながら、軟包材の安定供給により社会を支えることで皆様と一緒に業界の発展・地位向上に尽力して参ります。

道のりは厳しい上り坂かも知れませんが、2023年の干支ウサギは上り坂が得意だそうです。頑張りましょう。

最後に組合員・賛助会員の皆様方のご繁栄とご多幸を祈念いたし新年の挨拶とさせていただきます。

2023年

年頭所感

令和5年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。日頃は私共組合員の組合活動にご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、“今年の一文字”が「戦」であったように、2月のロシアのウクライナ侵攻がまず思い浮かびます。この侵攻により、ウクライナにおける深刻な経済縮小とロシア経済の混乱を引き起こし、食料やエネルギーといった商品市場の高騰、貿易、そして金融を通じた影響が波及しております。また、先進国による対ロシア制裁措置がロシアのエネルギー供給を制約し、エネルギー価格の高騰をもたらし、それを受けて米連邦準備制度理事会（FRB）が急速な利上げを実施したことが、他国の利上げを誘発する状況を生み出しました。

国内においても「悪い円安」という言葉も多く注目されました。日米金利格差拡大による「円買・ドル売」に踏み切ったこともニュースになりましたし、その後も「円安・ドル高」が止まらぬ傾向にあります。身のまわりにおいても、円安の影響で10月から生活に身近な食品などが値上げされる、「値上げの秋」が始まっております。思えば

全国グラビア製版工業会連合会
会長

高村 敏夫



この一年、短期的な期間に値上げが繰り返し起こる、稀にみる変化への対応が必要でありました。ロシアのウクライナ侵攻から国内における「悪い円安」の流れになりましたが、この先、状況次第では円安円高どちらでも振れるという、不安定な予断を許さない状況でございます。

当工業会の関連資材・材料も値上げが続いており、厳しい現状であります。私が考えますに、国内外に困難な状況である時、まず原点に帰ること。松下幸之助さんの言葉で、商売というものは「正売」であり、「正買」である、つまり正しく売り買いすることが大事である。とあります。ですので、私はそれをシンプルに行動に移す年にしたいと思えます。

本年は全国グラビア製版工業会連合会の真価の問われる重要な一年となります。皆様の声を傾聴しフットワーク軽く、関係機関の皆様とともに「継続的な成長」の実現に向けて職務に邁進いたしますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、会員の皆様方のご繁栄とご健勝を折念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

全国グラビア協同組合連合会 定例理事会報告

GP 表示を増やして存在価値を高める

全国グラビア協同組合連合会は、2022年11月10日(木)正午～午後3時まで、東京・第一ホテル両国25階「アジュール」において定例理事会を開催した。当日は、田口 薫会長（関東グラビア協組・理事長：大日本パッケージ(株)）、安永研二副理事長（同・副理事長：東包印刷(株)）、石井 純副理事長（関東プラスチック印刷協組・理事長：(株)多漣堂）、若狭博徳副理事長（北海道グラビア印刷協組・理事長：(株)北海サンコー）、山下雅稔理事（関東グラビア協組・副理事長：(株)巧芸社）、竹下晋司副理事長（関西グラビア協組・理事長：(株)ダイコー）、母里圭太郎副理事長（九州グラビア協組・理事長：(株)平野屋物産）、吉原宗彦理事（関東グラビア協組・副理事長：東京加工紙）、東 勇一理事（関東プラスチック印刷協組・副理事長：(株)トーショー）、佐伯鋼兵理事（埼玉県グラビア協組・理事長：(株)佐伯紙工所）、大野寿之理事（北海道グラビア印刷協組・副理事長：極東高分子(株)）、浮田信也理事（東海グラビア印刷協組・副理事長：大和産業(株)）、奥田拓己理事（関西グラビア協組・副理事長：(株)北四国グラビア印刷）、賀谷真尚理事（北陸グラビア協組・理事長：賀谷ゼロファン(株)）、織田憲三理事（同・理事：アートボックス(株)）、中村政見理事（九州グラビア協組・副理事長：(株)三裕商会）、袖山高明専務理事、村田英雄顧問、オブザーバーとして村野 剛氏（関東グラビア協組・理事：信和産業(株)）、諸石武士氏（同・理事：日本パッケージ(株)）の20名が出席した。



冒頭、田口会長が、はごろもフーズの訴訟や日経産業新聞に掲載されたゾンビ企業の話などに触れ、「事業を継続できる条件で営業すべき。経団連も給料をどんどん上げてもらって、

きちんとした生活が成り立つことをやっていかないといけない。活発に議論いただいて、いろんな知恵を出してほしい」と挨拶をして、下記の審議に入った。

1. 上期決算

袖山専務理事より、前年度通りとの報告とともに、仮受賦課金戻入については現在改修中の全グラホームページに充てられること、また、関係団体負担金については会員数減少の関係で減っているとの説明があった。

2. 新年会について

2023年1月13日（金）、ホテルニューオータニ

東京で開催予定の「全グラ・関グラ・関プラ3団体合同賀詞交換会」について、出席者から次のような意見があった

- リアルに集まるのは良いこと。集まらなると士気も上がらないという意見には賛成だが、第8波らしきものも出てきた。人数を減らして開催するのはいいが、立食での開催はNG。
- 1社2名など、人数を抑えて、令和2年の226名規模から100名程度に大きくカットする。
- 中止するのは簡単だが、生産者の農家・漁業関係者が大きな被害を受ける。広さの確保、立食はリスクが高いと思うので可能な限り着座、話すときは必ずマスクをしてもらう、人数を減らすなど、厳重な安全対策の中で行えばいいのではないかと。

3. 日印産連 GP 表彰式とトークショー報告

山下雅稔理事より、2022年10月19日(水)に東京・DNP 五反田ビル・ホールで開催されたGP（グリーンプリンティング）環境大賞等表彰式並びに



トークショーについて、次のような報告があった。

「当日は、TOKYO MXの取材が入り、夕方のニュースで報道された。小池百合子東京都知事に『環境マークは東京都がトップランナーで頑張る』と、GPにとってありがたいスピーチをしてもらったことがテレビで放映されて良かった。共同通信のネット配信OVOでも良い記事を配信してもらった。袖山専務から、皆様にメールでアドレスが配信されていると思うので、ぜひご覧いただき、組合員の皆様にもお知らせしてほしい。当日の様子は動画編集の中で、後日YouTubeで配信する予定。皆様のご努力で昨年の数倍のレベルで、パッケージ部門、グラフィア部門はGPマークが表示された。来年もさらに表示を増やすことで、グラフィア・パッケージ

部門のポジションを高め、我々の存在価値を高めることになる。まだGP認定を取っていない工場や、認定工場でもまだマークを表示されていないお客様もいるので併せてご案内したい」。

4. 第21回印刷産業環境優良工場表彰応募について

第21回印刷産業環境優良工場表彰の応募について袖山専務より紹介があった。出席者からは、時代が変わり、GPはパッケージにもGPマークが表示され始め、知名度も上がった。現在、毎日のようにGP認定を取りたい、クライアントからどうすればGPマークを自社製品に付けられるのかという問い合わせがGP認定事務局に入っていることを考えると、環境優良工場表彰を今後継続すべきが議論をする時期に来ているのではないが、等の意見が挙げられた。

振分12色・11色グラフィア印刷機(印刷7号機・印刷8号機)、
ドライラミネーター(DL5号機)に引き続き、
最新鋭ノンソルベントラミネーター(NS6号機)を増設稼働致しました。
ノンソルベント(無溶剤型)ラミネーターは、高い経済性と環境適性に優れており、
溶剤臭の心配がないため、食品包装などに適しています。
また、DIC株が開発した速硬化型無溶剤接着剤“DUALAM™”に対応し、
難易度の高い構成への適用も視野に入れた仕様としています。
更に多様なニーズに応えられる「日本一の協会社」を目指してまいります。





ISO9001:2015 認証取得
グリーンプリンティング認定工場
軟包装衛生協議会認定工場 正会員

■グラフィア印刷 ■ドライ・ノンソルラミネート



12 colors
wide 1300mm



日本パッケージング株式会社

本社・工場 〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽2100-30
TEL:0480-48-2620 <http://www.nippake.com/>

組合員・単組の近況

関グラ協組 定例理事会報告

軟包装のキャッチコピー、決定までには今少し時間が

関東グラビア協同組合は2022年12月1日（木）午後3時より理事会を開催した。当日は、組合事務所から田口 薫理事長（大日本パッケージ㈱）、安永研二副理事長（東包印刷㈱）、山下雅稔副理事長（㈱巧芸社）、吉原宗彦副理事長（東京加工紙㈱）、千田敦理事（㈱東京ポリエチレン印刷社）、小林直人理事（八潮化学㈱）、袖山高明専務理事、岸本一郎監事（㈱カナオカ）、村田英雄顧問の9名が、橋本 章理事（橋本セロファン印刷㈱）、川田雄治理事（トーホー加工㈱）、諸石武士理事（日本パッケージング㈱）、村野 剛理事（信和産業㈱）、柴田里香理事（弁護士）、佐藤裕芳監事（㈱千代田グラビヤ）の6名がZoomにて参加し、次のような議題について審議した。

1. 新年会について

2023年1月13日（金）午後3時半より、ホテルニューオータニ東京にて開催を予定している「全グラ・関グラ・関プラ3団体合同賀詞交歓会」について、コロナ禍とあって、来賓の方々はお呼びせず、参加人数を絞り込んでの開催となる、賛助会員を代表しての挨拶、乾杯の挨拶をどなたにしてもらおうか、当日の進行等について説明があり、議論した。

2. 全グラ定例理事会について

2023年1月13日（金）正午より、ホテルニューオータニ東京「ラピス3」にて開催予定の全グラ理事会の議題について説明があり、議論した。

3. コロナ感染状況と景況について

出席理事より次のような情報提供がなされた。

- 感染者・濃厚接触者が工場で始まった。
- 家庭内感染で営業が全員感染した。
- トップとして、当面、感染リスクにつながる飲食をしないと社員に表明している。
- 協力業者で感染者が出ている。

- 国全体として超過死亡（予測される死亡者数と比較した場合の、増加分の死亡者数）の状況が改善されていないのが気になる。社員を守るというスタンスで悩んでいる。
- 例年に比べると受注残が多い。4カ月、5カ月先の注文も入ってきている。
- 仕事はピークアウトしている。
- 実需が読み切れない。
- 原紙の入荷状況は良くない。
- 原材料の値上げがアナウンスされ、値上げをお願いする必要性が生じた。
- 電気代が値上がりしているので、次の値上げにオンしたい。
- フィルム在庫が足りない。
- インキ・接着剤の値上げ要請が来ている。
- 工場の人員確保が厳しい。
- 原紙分の値上げは進んでいるが、電力価格の値上がり激しいので、追いつかない。
- 来年4月以降の電気代の値上がりが心配。

4. 印刷産業における取引改善等に関する検討会

「印刷産業における取引改善等に関する検討会」

の委員を務める諸石武士理事から、2022年11月30日（水）に経産省別館で開催された第2回検討会について報告があった。

5. 軟包装のキャッチコピー

軟包装の社会的認識を高めてもらうための文面の修正および追加箇所について安永副理事長より説明があり、キャッチコピーについての幾つかの提案をもとに議論を深めた。

6. 労働安全衛生法施行令改正について

2022年5月31日（火）に公布された労働安全衛生法関係政省令の改正により、印刷物加工業では、2023年4月1日（土）から、新たに職務につくことになった職長その他の作業中の労働者を直接または監督する者に対し、合計12時間の安全衛生教育を行うことが義務化される。

職長とは総称に過ぎず、事業所によっては監督、班長、リーダー、作業長などさまざまな名称で呼ばれている。

合計12時間の安全衛生教育とは下記の事項。

- 作業方法の決定及び労働者の配置に関すること（2時間）
- 労働者に対する指導または監督の方法に関すること（2.5時間）
- 危険性または有害性等の調査およびその結果に基づき講ずる措置に関すること（4時間）
- 異常時等における措置に関すること（1.5時間）
- その他現場監督者として行うべき労働災害防止活動に関すること（2時間）

出席理事より、この安全衛生教育には時間とお金がかかる、またどういうレベルの人間を行かせればいいのか分からないので、管轄の労基に確認し、情報を共有したいとの申し出があった。

Information

日本包装学会、2月21日に第87回シンポジウム「循環型社会の実現に向けて—包装技術の現状と最新情報—」開催

日本包装学会は、来る2月21日（火）午前10時～午後4時20分まで、きゅりあん6F大会議室（東京都品川区東大井5-18-1）において第87回シンポジウム「循環型社会の実現に向けて—包装技術の現状と最新情報—」を開催する。

プログラムは次の通り。

10：00～11：00

「『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律』の概要とその役割について」（環境省 環境再生・資源循環局 総務課リサイクル推進室 室長 水谷 努 氏）

11：05～12：05

「容器包装3R推進のための自主行動計画2025及びフォローアップ報告（2021年度実績）」（3R推進団体連絡会 幹事長／紙製容器包装リサイクル推進協議会 専務理事・事務局長 川村節也 氏）

13：10～14：10

「高性能な生分解性バイオマスプラスチック

の創製と環境分解性評価」（東京大学大学院 農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 高分子材料科学研究室 教授 岩田忠久 氏）

14：15～15：15

「リサイクル・リユースの課題と展望。捨てるという概念を捨てよう」（テラサイクル アジア太平洋統括責任者 エリック・カワバタ 氏）

15：20～16：20

「ポリオレフィンリサイクルの取り組みと包装材への応用」（ロツケケミカル株式会社 金善美 氏）
〈要旨〉グローバル的にプラスチック問題に関わった各国の政府および企業の活動は増えつつあり、その内容も具体化されていく。今回、弊社で展開したメカニカル及びケミカルリサイクルポリオレフィンの事業と製品の紹介を含めて、社内で構築した循環型リサイクルシステムの事例紹介を行い、廃プラスチックの再資源化の可能性を広げる。

組合員・単組の近況

関西グラビア協同組合

令和4年度年末情報交換会を開催

関西グラビア協同組合（竹下晋司理事長、㈱ダイコー）は、2022年12月2日（金）午後6時からコンラッド大阪（Ballroom 1）において、111名参加のもと令和4年度年末情報交換会を開催しました。



竹下理事長

司会の神之口青年部員から感染防止に関する注意事項の説明があり、続いて竹下理事長が開宴挨拶の中で、当初会場定員の60%での開催を予定していたものの非常に多くの参加申し込みをいただき、情報交換

の場を設けるとい組合意義を念頭に定員まで受け入れる判断をしたと述べ、続けて、私が平成27年に理事長に就任し4期6年が経過する中で、会場を見渡したときに初めて会う顔も多くなり、時代が流れていることを実感しています。1つ皆様への情報として、全国グラビア協同組合連合会で私たちの仕事であるパッケージ（軟包材）を広く広報する方法について議論を進めています。海洋プラ問題やその他様々な問題に対して、私たちが作っているパッケージは必要かつ大きな役割を担っていて、無ければ商品が流通せず消費者の手に届かない。また、フードロス削減では特殊フィルムを使って消費期限を延ばす取り組みもしています。このような情報を外に向けどんどん発信し、また社員のモチベーション向上のため社内に向けても発信していく、そういった試みを進めています。そのように広く社会に伝えていくことが、今



大阪印刷インキ製造の森田取締役営業本部長

後我々の果たすべき大きな課題だと思っていますと締めくくりました。

その後、賛助会員を代表して大阪印刷インキ製造㈱の森田吉昭取締役営業本部長の乾杯の音頭で宴会が始まり、途中、今期新たに組合加入された三信貿易㈱の小川博史氏から一言をいただき、2時間の食事と歓談の輪が繰り広げられました。



三信貿易の小川氏

中締めでは高桑理事が壇上へ上がり、今年1年を振り返り、業界は値上げに次ぐ値上げ、その反動で原材料は入らない、けれどもお客様の需要は前倒しという厳しい状況が続いていると思いますが、今日お集まりいただいた皆さんと協力し合って一致団結し、我々が



高桑理事

携わる包装業界がなければお中元やお歳暮の風習も成り立たない、そんな日本の文化を我々が支え

ているのだという自負を持って業界全体を盛り上げながら新たな年を皆で迎えましょうと挨拶し、

一本締めで午後8時、関西グラビア協同組合今年最後の行事を無事に終えました。



会場の様子

付加価値のあるさまざまな包装材で

お客様の商品づくりをお手伝いします

大日本パッケージグループではアイデアを出し合い国際社会で戦える印刷枠を超えた付加価値のある商品提案を行ない、お客様のニーズにお応えします。



イオン吸着式全熱交換システム
全工場 環境優良工場受賞



大日本パッケージ株式会社

DAINIHON PACKAGE CORPORATION

〒343-0002 埼玉県越谷市平方 1004-11

TEL 048 (973) 0301 FAX 048 (973) 0300

グループ会社

 **日本パッケージ株式会社**

E-mail info@nippake.com URL <http://www.nippake.com/>



GREEN PRINTING JFPI
F-H30002
本社工場



REGISTERED ORGANIZATION
No.4151-ISO 9001



BELLPACK ベルパック株式会社

E-mail info@bell-pack.co.jp URL <http://www.bell-pack.co.jp/>

「じゃぱにうむ2023」、2月17日にリアル開催&ライブ配信 北四国グラビア印刷が事例を発表

(一社)日本印刷産業連合会は、2018年度より継続開催している印刷産業の地方創生事業事例発表会を「じゃぱにうむ2023」として、2023年2月17日(金)午後2時～4時30分まで開催する。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行った上で、日本印刷会館2階大会議室にお

いて受講者数を絞ってリアルに開催し、その模様をYouTubeでライブ配信する。

基調講演では、日本テレビ「シューイチ」等のコメンテーターを務める渋谷和宏氏が登壇、また、全国から選りすぐりの6社による地方創生・地域活性化に関わる事業の事例発表も併せて行われる。

プログラム

開会挨拶

日本印刷産業連合会 地方創生推進部会 田畠義之 部会長

基調講演 (14:05～14:30までの時間限定配信)

コロナ禍からコロナ後へ輝く地域・輝く人の条件

渋谷和宏 氏 (作家・経済ジャーナリスト)

アフターコロナ、ウィズコロナの時代における新たな地方創生・地域活性化の在り方や、徐々に回復しつつあるインバウンド需要をどう捉えて地方創生・地域活性化につなげていけるかについて講演を行う。

事例発表

全国の印刷会社6社による地方創生事業に関わる事例発表を行う。

(株)ユーメディア (宮城県仙台市)

第一コンピュータ印刷(株) (新潟県三条市)

(株)文昌堂 (宮崎県都城市)

(株)北四国グラビア印刷 (香川県観音寺市)

(株)クリエイツ (大分県別府市)

(株)サトーランド (愛知県名古屋)

ライブ配信

日印産連 Web サイト「じゃぱにうむ2023」専用ページより、14:00～16:30までYouTubeライブで配信。

<https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=5598>

※日本印刷産業連合会10団体に所属の企業には2月24日(金)まで閲覧可能なURLを別途配信予定。
渋谷和宏 氏の講演は写真と簡単な講演抄録を掲載する予定

令和4年12月5日

実習実施者 各位

監理団体 各位

グラビア印刷作業（7-2-2）に係る審査基準変更のお知らせ

今般、グラビア印刷作業（7-2-2）に係る審査基準が変更となり、2022年12月1日から新基準が適用されます。

本日現在、厚生労働省のホームページでは、旧基準のものが掲載されておりますが、新基準（次頁以降参照）では、下記事項について追加で確認いたしますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

1 作業の定義

グラビア印刷作業を行う場合、以下の要件全てを満たす事業場として全国グラビア協同組合連合会の確認（※）を受けた事業場における作業でなければならない。

- ①労働安全衛生法令を遵守している。
- ②定期的に作業環境測定を実施しており、かつ、直近の作業環境測定で作業場が第3管理区分ではない。
- ③定期的に有機溶剤健康診断を実施しており、有機溶剤等健康診断結果報告書を労働基準監督署に提出している。

※受入の際には、全国グラビア協同組合連合会が発行した確認証が必要となります。

つきましては、同連合会からチェックリストを入手し、必要なチェックを行い、承認印をもらったもの（原本）をご提出ください。

2 使用する機械、器具等について

第2号技能実習では、多色グラビア印刷機を必ず使用すること。

印刷職種（グラビア印刷作業）

<p>作業の定義</p>	<p>グラビア印刷機を使用し、印刷物を印刷する作業をいう。 注 グラビア印刷作業を行う場合、以下の要件全てを満たす事業場として全国グラビア協同組合連合会の確認（※1）を受けた事業場における作業でなければならぬ。 ①労働安全衛生法を遵守している ②定期的に作業環境測定を実施しており、かつ、直近の作業環境測定で作業場が第3管理区分ではない ③定期的に有機溶剤健康診断を実施しており、有機溶剤健康診断結果報告書を労働基準監督署に提出している （※1）受入の際には、全国グラビア協同組合連合会が発行した確認証が必要となります。</p>
<p>必須業務（移行対象職種・作業で必ず行う業務）</p>	<p>第1号技能実習</p> <p>(1) グラビア印刷作業 グラビア印刷機によるグラビア印刷操作作業 ①前準備作業の補助 1. 版（シリンドラー）準備取付け ※ 「版（シリンドラー）」は、以下「版」と表記 2. フィルム繰り上げ準備 3. フィルム繰り上げ準備 ②本番前調整作業の補助 1. インキまわりの養生（インキカバー） ③本番印刷作業の補助 1. フィルム繰り上げ作業 2. 印刷済フィルムの梱包 ④印刷後作業の補助 1. 版洗浄・取外し ⑤衛生管理作業 1. 作業者の作業着、帽子、毛髪等の付着物点検作業 2. 製品の衛生的な取り扱い</p> <p>第2号技能実習</p> <p>(1) グラビア印刷作業 グラビア印刷機によるグラビア印刷操作作業 ①前準備作業 1. 版準備取付け 2. フィルム取付け 3. フィルム繰り上げ準備 4. インキ調色、溶剤系調整及びドクタープレート調整 5. 版面の耐水ペーパー掛け 6. 機材へのフィルム通し ②本番前調整作業 1. インキまわりの養生（インキカバー） 2. 臭当合せ 3. 圧印清掃確認 ③本番印刷作業 1. フィルム繰り上げ作業 2. 印刷済フィルムの梱包 3. 印刷済サンプリングの検査・報告 4. 調整済インキの補充 5. 後置機の確認・報告 ④印刷後作業 1. 版洗浄・取外し 2. インキ回収・計量 3. インキバンの洗浄 ⑤衛生管理作業 1. 作業者の作業着、帽子、毛髪等の付着物点検作業 2. 製品の衛生的な取り扱い</p>
<p>関連業務、周辺業務（上記必須業務に関連する業務等の修得に</p>	<p>第1号技能実習</p> <p>(1) 関連業務 ①原稿作成作業（企画、編集、デザイン等） ②原版製作作業（組版、放下、製版作業等） ③グラビア版作成作業（メッキ・研磨・製版装置等） ④ラミネート加工作業（包装材料として熱シールができるようにフィルムを自動包装機で使用できるように袋1枚ごとの幅に裁断する作業） ⑤スリット加工作業（小さな幅で複数印刷加工されたフィルムを自動包装機で使用できるように袋1枚ごとの幅に裁断する作業） ⑥製袋加工作業（印刷やラミネートされたフィルムを袋状にして包装材料にする作業） ⑦フレキ印刷作業（凸版方式） ⑧デジタル印刷作業（無版方式） ⑨オフセット印刷作業（平版方式） ⑩特殊印刷作業</p>

<p>係る業務等で該当するものを選択すること。)</p>	<p>(2) 周辺業務 ①仕上がったフィルムの検品作業（巻き返し検品、製袋品の検査） ②素材（材料）の梱包運搬作業 ③製品の構内運搬作業 ④梱包・出荷作業</p> <p>(3) 安全衛生業務（関連業務、周辺業務を行う場合は必ず実施する業務） 上記※に同じ</p>
<p>使用する素材、材料等（該当するものを選択すること。)</p>	<p>①版材 紙又はアルミ製の版</p> <p>②グラビア印刷インキ等（1)のうち一つ以上必ず使用し、他は必要に応じて使用すること。)</p> <p>1) グラビア印刷インキ ①裏刷りインキ ②裏刷りインキ ③シユリンクインキ 2) 溶剤 3) 添加剤 4) その他</p> <p>③フィルム等（一つ以上必ず使用すること。)</p> <p>1) OPP (延伸ポリプロピレン) 2) CPP (無延伸ポリプロピレン) 3) PET (ポリエチレン) 4) NY (ナイロン) 5) PE (ポリエチレン) 6) 紙 7) その他フィルム</p>
<p>使用する機械、器具等（該当するものを選択すること。)</p>	<p>①グラビア印刷機及び付属装置（注）（一つ以上必ず使用すること（第2号技能実習では、1）2.を必ず使用し、他は必要に応じて使用すること。))</p> <p>1) グラビア印刷機（付属装置を含む。） ①単色グラビア印刷機 ②多色グラビア印刷機 2) その他のグラビア印刷機（付属装置を含む。） 注 付属装置 給紙装置（2軸ターレット）、テンション装置（インフィード・アウトフィード）、縦横当装置（カラコン）、巻き取り装置、循環ポンプ（粘度コントローラー）、検査装置等をいう。</p> <p>②グラビア印刷関連機械、装置等（必要に応じて使用すること。)</p> <p>1. グラビア製版機（彫刻機、レーザー製版機） 2. 電子組版器（パソコン等含む。） 3. 校正機 4. フィルム・版運搬台車 5. インキ調色台・CCM</p> <p>③器具等（1)を必ず使用し、他は必要に応じて使用すること。)</p> <p>1) 各種保護具（保護眼鏡、耐溶剤性手袋、軍手、保護マスク等） 2) グラビア印刷機用各種工具類 1. ウェス 2. インキ拭き棒</p> <p>3) 測定器具等 1. ノキス（版直径測定用） 2. マイクロメータ（フィルム厚み測定用） 3. 濃度計（印刷濃度測定用）</p> <p>④食品軟包装印刷物 1. 食パン・菓子パン包装 2. ボトトチャップス・パフ菓子・おせんべい等の包装 3. レトルト類（カレー・シチュー等）包装</p> <p>⑤ラベル印刷物 1. ヘットボトurlラベル印刷 2. ビン等ラベル印刷</p> <p>⑥建材等印刷物 1. 壁紙印刷 2. 窯瓦、建材印刷</p> <p>⑦測定器具等 1. スリッター機 2. 製袋機 3. 押しラミネート機 4. その他関連機器、装置等</p> <p>⑧ペーパー（版表面やドクターを研磨するもの）、耐水ペーパー 4. ドクター研磨用耐水ペーパー</p> <p>⑨粘厚計（ザンカップ） 8. 巻尺（フィルム等直径や円周の測定） 9. その他関連測定器等</p> <p>⑩医薬品印刷物 ⑪その他の印刷物等 1. 冷凍類（冷凍食品・冷凍等）包装 2. 水物類（漬物等）包装 3. その他の軟包装への印刷</p>
<p>製品等の例</p>	<p>①日用雑貨印刷物 1. 立貨包装 2. トイレットペーパー包装</p> <p>②食品軟包装印刷物 1. 食パン・菓子パン包装 2. ボトトチャップス・パフ菓子・おせんべい等の包装 3. レトルト類（カレー・シチュー等）包装</p> <p>③ラベル印刷物 1. ヘットボトurlラベル印刷 2. ビン等ラベル印刷</p> <p>④建材等印刷物 1. 壁紙印刷 2. 窯瓦、建材印刷</p> <p>⑤測定器具等 1. ノキス（版直径測定用） 2. マイクロメータ（フィルム厚み測定用） 3. 濃度計（印刷濃度測定用）</p> <p>⑥食品軟包装印刷物 1. 食パン・菓子パン包装 2. ボトトチャップス・パフ菓子・おせんべい等の包装 3. レトルト類（カレー・シチュー等）包装</p> <p>⑦測定器具等 1. スリッター機 2. 製袋機 3. 押しラミネート機 4. その他関連機器、装置等</p> <p>⑧ペーパー（版表面やドクターを研磨するもの）、耐水ペーパー 4. ドクター研磨用耐水ペーパー</p> <p>⑨粘厚計（ザンカップ） 8. 巻尺（フィルム等直径や円周の測定） 9. その他関連測定器等</p> <p>⑩医薬品印刷物 ⑪その他の印刷物等 1. 冷凍類（冷凍食品・冷凍等）包装 2. 水物類（漬物等）包装 3. その他の軟包装への印刷</p>
<p>移行切替準備・作業とはならない業務例</p>	<p>上記関連業務及び周辺業務のみの場合</p>

申請企業名 ○○印刷株式会社

監理団体名

○×協同組合

令和○○年○○月 現在

次頁をよくお読みのうえご記入して下さい

グラビア印刷作業チェックリスト（記入例）

グラビア印刷作業を行う場合、以下の要件をすべて満たす事業所として、
全国グラビア協同組合連合会の確認を受ける必要があります。

要点項目	回答欄
1 従業員数は何人ですか	人
2 安全衛生体制について	<input type="checkbox"/>
① 安全衛生推進者の選任（10～49人）	<input type="checkbox"/>
② 衛生管理者の選任（50人以上）	<input type="checkbox"/>
③ 産業医の選任（50人以上）	<input type="checkbox"/>
④ 安全衛生委員会の定期開催（50人以上）	<input type="checkbox"/>
⑤ 作業主任者の選任（有機溶剤、特化物）	<input type="checkbox"/>
⑥ 労働基準監督署に提出した選任報告書のコピーを提出してください（50人以上）	<input type="checkbox"/>
3 安全衛生表示・掲示などの意識の高揚について	<input type="checkbox"/>
① 有機溶剤等の区分の表示	<input type="checkbox"/>
② 有機溶剤等使用の注意事項	<input type="checkbox"/>
③ 作業主任者の職務と氏名の表示	<input type="checkbox"/>
④ 有機溶剤作業主任者の人数と代表者1名の氏名をお知らせください	人
氏名	1名の方で良いです
4 安全衛生教育を実施しているか	<input type="checkbox"/>
① 雇い入れ時の教育	<input type="checkbox"/>
② 作業内容変更時の教育	<input type="checkbox"/>
③ 危険有害業務に関する特別教育	<input type="checkbox"/>
④ 職長等の監督者教育	<input type="checkbox"/>
5 装置・設備の整備と管理をしているか	<input type="checkbox"/>
① 年1回の定期自主検査と記録（局所排気、プッシュプル換気等）	<input type="checkbox"/>
② 毎月の点検（作業主任者の職務）	<input type="checkbox"/>
6 作業環境測定の定期実施と記録保存について	<input type="checkbox"/>
① 作業環境測定の定期実施	<input type="checkbox"/>
② 作業環境測定の記録保存	<input type="checkbox"/>
③ 作業環境測定証明書のコピーを提出してください （多年度にわたる書類、直近の3年分）	<input type="checkbox"/>
7 健康診断の実施について	<input type="checkbox"/>
① 雇い入れ時の健康診断の実施	<input type="checkbox"/>
② 定期健康診断の実施	<input type="checkbox"/>
③ 特殊健康診断の実施	<input type="checkbox"/>
④ 労働基準監督署に提出した有機溶剤等健康診断結果報告書のコピーを提出してください （直近の分）	<input type="checkbox"/>
8 安全衛生保護具の整備（人数分）	<input type="checkbox"/>
9 安全衛生活動の目標・計画を立てているか 朝礼、ミーティング、職場体験、提案、パトロール、ホスター、標語、整理・整頓・清掃・清潔等	<input type="checkbox"/>
10 評価試験使用機械メーカー名、型番をお知らせください	<input type="checkbox"/>

上記について確認いたしました。

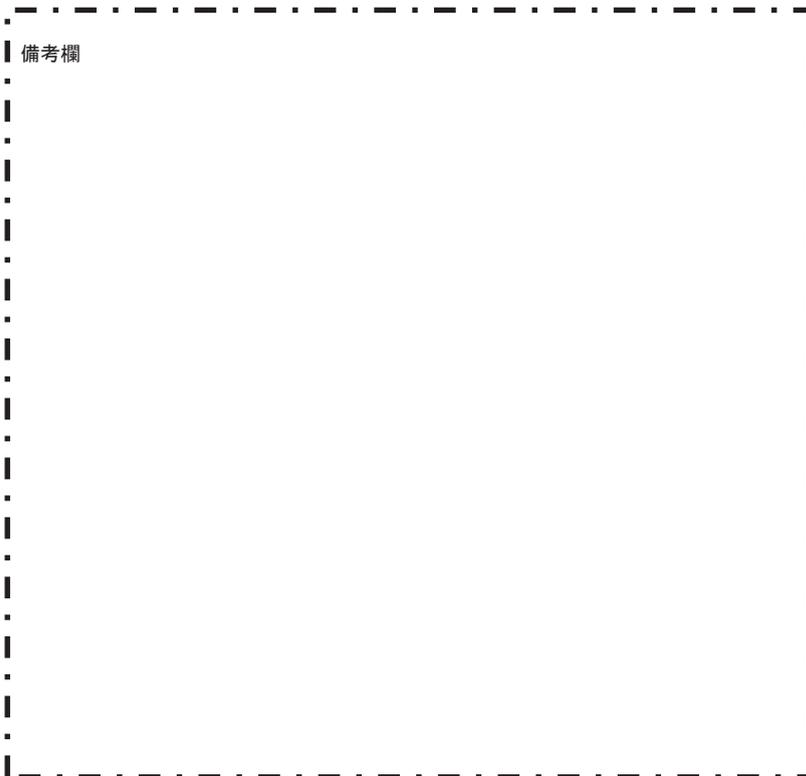


全国グラビア協同組合連合会 田口 薫

印

- ※ □のチェックボックスはし点にて記載下さい
 - ※ □のチェックボックスは該当しないときは空欄のままとして下さい
 - ※ 記入枠の部分には必ず黒のボールペンを使用してください
 - ※ 基本的に記載内容は労働安全衛生法の労働安全衛生規則にて履行が義務付けられています
 - ※ 2-⑥の選任報告書のコピー提出の無い時は衛生管理者及び産業医を選任していないとみなします
 - ※ 6-③の作業環境測定証明書のコピー提出の無い時は実施していないとみなします
 - ※ 7-④の有機溶剤等健康診断結果報告書のコピー提出の無い時は実施していないとみなします
 - ※ メーカー名、型番の不明の場合は必ず写真を撮って添付願います
- 後程お電話にてお問合せした時に連絡のつく電話番号とご担当者名を代わりに記載して下さい

備考欄



チェックリストの内容についてご不明の点は「全国グラビア協同組合連合会」ホームページの
<https://www.gcai.or.jp/>
以下のURLから「グラビア印刷工場有機溶剤使用必須6項目」pdfをダウンロードしてご確認ください
<https://www.qcaj.or.jp/roudou/file/hissu.pdf>

労働安全衛生法令については、最寄りの労働基準監督署にお問合せください